

関係者各位

関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日(8月14日(火))10時50分頃、大飯発電所3、4号の屋外において、点検中の作業員が、海水淡水化装置 から海水が漏えい(蛇口4本程度)していることを確認しました。

大飯発電所では、海水を同装置により淡水にして、各機器や生活用水として使用している。

11時45分、当該の海水淡水化装置を停止したことにより、漏えい量は小指の太さ程度まで減少しています。

漏えいした水は海水であり、放射性物質は含まれていません。漏えいした水は、排水ピットに流れ込み、排水ポンプにより排出されています。

また、大飯発電所内への淡水の供給は、他の海水淡水化装置により問題なく行われています。

本件は、昨日、排水ピットの水位が上昇したことを示す警報が発生しており、当初、降雨によるものと考えていましたが、その後、現場確認を行ったところ、海水の漏えいが確認されたものです。

大飯3、4号機の運転に影響はありません。

今後、漏えいが発生した原因について調査を行う予定です。

以上